

# PFI 手法を用いた再開発事業の事後評価

## -豊島区池袋を事例として-

山本祐真

近年豊島区池袋では次々と再開発が行われており、本研究の目的はその事業がどのように行われているのか、その再開発の良い面、改善点を明らかにすることである。本研究では豊島区の再開発事業では PFI 手法を活用してその手法を利用して再開発が行われた庁舎、造幣局跡地、南池袋公園の3つの場所を例に事業が行われるまでの背景や事業内容を説明し、その事業の評価を行った。事業の評価方法虎ノ門・六本木地区の街づくり、六本木地区三丁目東地区第一種市街地再開発事業で使用された港区市街地再開発事業の評価項目を用いて豊島区池袋の再開発事業の優れた点や課題を考察した。豊島区の再開発では公園が整備されたことで防災面やまちの景観が良くなったが、防災の面でも公園外や庁舎の跡地である Hareza 池袋の事業の課題が明らかとなった。